



8月9日 戦没者追悼・平和祈念式【市民ホールTETTO】

平和への思い 風化させることなく

釜石市戦没者追悼式が、未来に平和への思いをつなぎ、若い世代も参加しやすい式典とするため今年から「釜石市戦没者追悼・平和祈念式」と名称を改め、この日行われました。

昨年度から交流が始まった青森市の中学校の生徒9人と当市の中学校の生徒10人は、戦争体験談を聞くなどの活動を紹介しました。式典には市民など130人が参列し、戦没者の慰霊と恒久平和への思いを新たにしていました。



8月21日 リンダイヤさん市長表敬【市長室】

祖父の足跡をたどって

第2次世界大戦中、捕虜として当市で収容所生活を余儀なくされたオランダ人エヴェルト・ヴィレム・リンダイヤさんの孫でエローイ・リンダイヤさん家族4人が収容所跡地や郷土資料館を訪れ、収容所の写真などを閲覧しました。リンダイヤさんは「あのような過ちを繰り返してほしくない。子どもたちには家族の歴史を知ること、平和や自由のありがたさを感じてほしい」と平和への願いを語りました。



8月19～27日 東北総合体育大会 特別国民体育大会東北ブロック大会

東北最大のスポーツイベント

各会場では国民体育大会の出場権を賭けて熱戦が繰り広げられました

ラグビーフットボール競技（7人制）

8月19日・20日 釜石鶴住居復興スタジアム

釜石会場では成年男子・女子の7人制が行われ、岩手県チームは男女とも3位となり残念ながら国民体育大会への出場はかないませんでした。



ボクシング競技 8月25日～27日 釜石市民ホールTETTO

成年男子・成年女子・少年男子の部の競技が行われ、岩手は県対抗では成年男子が1位、総合で2位の成績となり、成年男子・成年女子が国民体育大会の出場権を獲得しました。

おめでとうございます



復興大臣より感謝状

有限会社小島製菓 様

被災地域における産業復興や地域課題解決に向けて優れた取り組みを行っているとして感謝状を贈りました（8月17日、市長を表敬訪問）

8月2日 フィジー大使市長表敬【釜石祈りのパーク他】

ラグビーが結んだ絆を確かめ合う

2019年のワールドカップで釜石鶴住居復興スタジアムでプレーをした縁で、フィジーのフィリモネ・ワガバサ駐日特命全権大使が就任の挨拶に釜石を訪問しました。フィジーはラグビーが盛んな国で、大使自身もフィジーラグビー協会の会長も務められたとのこと。当日は釜石祈りのパークで震災犠牲者に献花を行った他、釜石鶴住居復興スタジアムを見学し、市の担当からワールドカップ当時の状況などの説明を受けました。



8月5日 わくわくサマーセッション【市民ホールTETTO】

みんなで作り・楽しむ夏休み

かまいしこども園子育て支援センター「バンビルーム」が、親子と地域住民との交流の場を作ろうと夏休みイベントを開催しました。当日は、キッズスペースを中心に、ヨーヨーや手形足型アート、英語や音楽のお楽しみの他キッチンカー出店など、たくさんの親子連れや地域住民など、約300人が参加しました。当日は高校生も運営をサポートし、多くの世代の笑顔があふれるイベントとなりました。運営の中心的な役割を担った新谷先生は「このような大きいイベントは初の取り組み。今後も親子に寄り添った空間を作っていければ」と期待を込めました。



8月5日 小山怜央さんプロ棋士合格記念講演会・祝賀会・釜石応援ふるさと大使委嘱状交付式【釜石PIT・ホテルクラウンヒルズ釜石】

激動の将棋人生を振り返る

当市出身で4月から将棋のプロ棋士となった小山怜央四段の講演会が開催され、市民など約70人が「将棋との出会い」「就職後に再度プロを目指したきっかけ」などの話に聞き入りました。講演後、県内初のプロ棋士合格を祝う祝賀会が行われ、会場に喜びの声が溢れました。

その席上で、市長から小山四段に釜石応援ふるさと大使が委嘱されました。



市長から小山さんに委嘱状が交付されました



講演会の様子

ありがとうございます

8月9日 命のきずなカプセル贈呈【市長室】

市は、金沢医科大学から「命のきずなカプセル」500セットの寄贈を受けました。

このカプセルは一人暮らし高齢者などの自宅冷蔵庫に備え付け、カプセルの中にかかりつけ医や持病などの医療情報や緊急連絡先などを書き込んだ「緊急時情報カード」を入れておくことで、万が一の場合にスムーズな救護に役立てようとするものです。

市は今回の寄贈分を合わせてこれまで金沢医科大学と金沢工業大学から2,500個の寄贈をいただいています。

一人暮らし高齢者等でこのカプセルの利用を希望する人は、市地域福祉課（☎22-0177）または釜石市社会福祉協議会生活ご安心センター（☎22-2310）へお問い合わせください。

